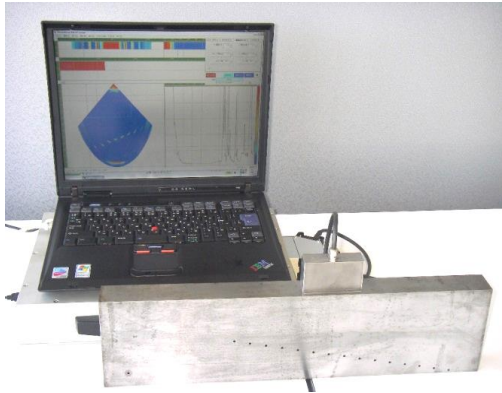
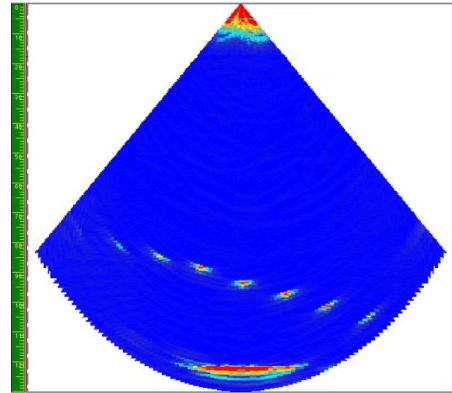


フェーズドアレイ超音波探傷試験 (Phased Array Ultrasonic Testing)



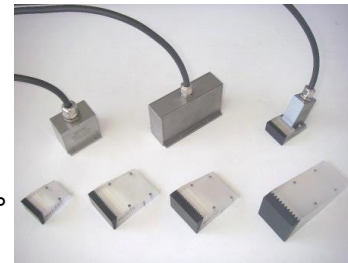
フェーズドアレイ超音波装置



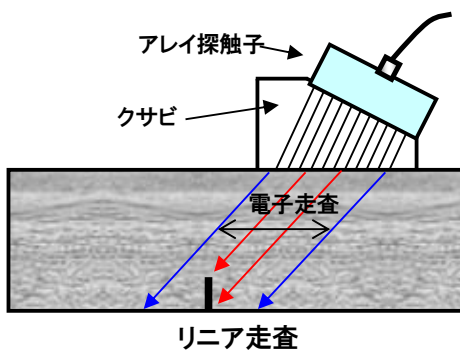
φ3横穴の探傷画像(セクタ走査)

フェーズドアレイ超音波探傷試験は、アレイ探触子の各エレメントに電圧を印加するタイミングを変えることで、探触子を走査せずに各エレメントの電子走査で超音波ビームの入射方向や集束深さを任意に設定し、きず検出、きず高さ測定等を行うことが可能です。

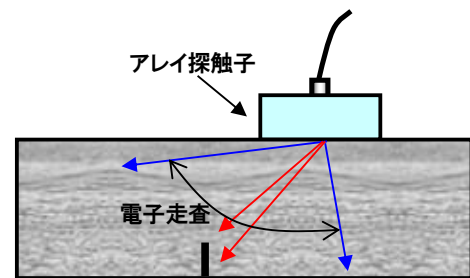
16～128エレメントのアレイ探触子を用途別に使い分けます。



アレイ探触子とクサビ



リニア走査



セクタ走査

電子走査方式

特長

- 探傷断面の可視化
- 画像処理による識別性、測定精度の向上
- 広範囲なフォーカス点に対応
- 走査時間の短縮
- きず(欠陥、き裂)の検出、サイジング

適用

- 発電設備蒸気管きずサイジング
- 石油精製機器配管きずサイジング
- 化学プラント機器配管きずサイジング
- 複雑形状部への適用